

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 2月 10日

事業所名 IQLino西宮校

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		規定における十分なスペースを確保しております	今後も継続して実施していきます
	2 職員の配置数は適切である	○		基準を満たす職員配置を適切に設置しております	今後も継続して実施していきます
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		プログラムごとのコーナー化、事業所内はトイレの前のスペース(段差5cm程)以外は段差がない構造となっております	今後も継続して実施していきます
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		実施後には清掃、消毒を行い清潔な環境で療育ができるよう心がけております	今後も継続して実施していきます
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		定期的にミーティングを実施し、業務改善に努めております	今後も継続して実施していきます
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者様向けの評価表により、保護者様に対して事業所の評価を実施いたしております	保護者様の意向を職員全員で共有し、業務改善に繋げていきます
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○		2022.4~開校しましたので、今回の評価をHPにて公表いたします
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在のところ実施予定はありません
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		月に1回は必ず研修を行っております	今後も継続して実施していきます
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		モニタリングで保護者のニーズを聞き取り、それを踏まえた上で、子どもの発達に合わせ作成しております	今後も継続して実施していきます
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		感覚統合を中心としたあそびを利用児すべてに対して実施しております	今後も継続して実施していきます
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		設定しております	今後も継続して実施していきます
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		計画の支援をノートの目的として記載し、沿って支援しております	今後も継続して実施していきます
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		月毎に職員で活動プログラムを立案しております	今後も継続して実施していきます
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		週ごとにプログラムが変わっていくことで固定化しないようにしております	今後も継続して実施していきます
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	○		お子さまの様子に合わせてながら集団、個別を設定してプログラムをすすめております	今後も継続して実施していきます

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		1日の支援内容、プログラムの役割分担を表にし、所定の場所に置き、いつでも確認できるようにしております	今後も継続して実施していきます
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援終了後に意見交換を行い、個人の支援記録にて共有できるようにしています	今後も継続して実施していきます
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		1か月ごとにinformation作成にあたって支援記録の確認、見直し、日々の課題設定にも活用しております	今後も継続して実施していきます
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		面談を行い、半年ごとに計画を見直し及び作成を行っております	今後も継続して実施していきます
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		○	相談支援事業所とは、電話にて連携を行っております	参加する機会がなかったが、担当者会議が必要な時にはふさわしい物が参画していきたいと思っております
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○		他機関との連携を取れるようしていきたいと思っております
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		非該当
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		非該当
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者からの連携のニーズがある時には、informationにてお便りを配布し共有しております	今後も継続して参加していきます
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		特別に行ってはいないが、担当者会議がある時に参加予定
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		研修があった時には必要な物は参加している	今後も継続して参加していきます
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		地域の交流はありません。今後は必要に応じて検討していきます
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	参加していない	情報を得るようにしていこうと思っています
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡ノートや送迎時にお子様の様子をお伝えし、情報共有に努めております	今後もご質問、相談があればいつでも話を聞くことを継続して実施していきます
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		月に1回、子育てカレッジを開催(配信あり)	今後も継続して実施していきます	
32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		利用開始時に丁寧に説明をしている	今後も継続して実施していきます	
33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		利用開始時に説明をしているが、不明点がある場合は再度丁寧に説明するよう伝えている	今後も継続して実施していきます	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		子育ての悩みやご相談に丁寧な対応を心がけております	今後も継続して実施していきます
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	父母の会、保護者回は実施しておりません	現段階では実施しない予定ですが、必要に応じて検討していきます
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談・苦情に関しましては、迅速に対応を心がけております	今後も継続して実施していきます
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		1か月に1回お子様の様子をinformation(お便り)として配布しております	今後も継続して実施していきます
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			引き続き、取り扱いについて厳重に配慮していきます
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		個別に対応しております	今後も継続して実施していきます
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		防犯のためにALSOKの導入や防犯スプレーを教室に設置している	今後も継続して実施していきます
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年に2回(火災・地震)避難訓練を実施	今後も継続して実施していきます
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			利用開始時に確認をしている
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		飲食は基本的にはないが、利用開始時に保護者にアレルギーの確認をしている
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットは記録に残し、職員間でも共有できるよう保管している	今後も継続して実施していきます
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		年に2回外部講師から研修を行っている	今後も継続して実施していきます
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○	契約時に身体拘束を行わない説明をしている	身体拘束を行わないが、必要になった時には記録として残しておく

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。